



第28号 (昭和37年3月)

目次

関係法令 1
 学内規程 1
 学内通知 3
 人事異動 4
 総合情報 4
 卒業式 4
 入学試験 5
 文理学部の移転 6
 中沖教授の退職 6
 手塚教授の逝去 6
 レクリエーション 7
 部局情報 7
 日誌 7

関係法令

法律

- 第18号 国家公務員等の旅費に関する法律の一部を改正する法律 37. 3. 23官報
- 第35号 文部省設置法の一部を改正する法律 37. 3. 29
- 第36号 国立学校設置法の一部を改正する法律 37. 3. 26
- 第44号 所得税法の一部を改正する法律 37. 3. 31官報号外
- 第60号 義務教育諸学校の教科用図書は無償に関する法律 37. 3. 31

政令

- 第75号 文部省組織令の一部を改正する政令 37. 3. 29
- 第76号 国立学校設置法施行令の一部を改正する政令 37. 3. 29
- 第94号 所得税法施行規則の一部を改正する政令 37. 3. 31

省令

- 文部第11号 国立大学の講座に関する省令の一部を改正する省令 37. 3. 31官報号外
- 第12号 学校教育法施行規則の一部を改正する省令 37. 3. 31
- 第13号 学位規則の一部を改正する省令 37. 3. 31
- 第14号 科学研究費交付金等取扱規程の一部を改正する省令 37. 3. 31
- 大蔵第21号 所得税法施行細則の一部を改正する省令 37. 3. 31

告示

- 文部第75号 第76号 教育職員免許法の規定により、大学の課程を免許状授与の所要資格を得させるための大学の正規の課程として認定した件 37. 3. 28官報
- 第77号 右同法の規定により、大学の大学院の課程を高等学校教諭1級普通免許状授与の所要資格を得させるための大学院の課程として認定した件 37. 3. 28
- 第78号 右同法の規定により、大学の専攻科の課程を高等学校1級普通免許状授与の所要資格を得させるための大学の専攻科の課程として認定する件 37. 3. 28
- 第79号第80号 右同法の規定により、大学の課程を免許状授与の所要資格を得させるための大学の聴講生の課程として認定する件 37. 3. 28

学内規程

富山大学薬学部規程の一部改正

富山大学薬学部規程の一部を評議会の議を経て次のように改正する。

昭和37年3月15日

富山大学長 横田嘉右衛門

第1章および第2章を次のように改める。

第1章 学科および学科目

第1条 本学部に薬学科をおく。

2 薬学科には専攻種別により薬学コースおよび製薬コースをおく。

第2条 学科目は一般教育科目、専門科目、外国語および体育とする。

第3条 在学期間は4カ年以上とし、1年を2学期に分け、各学期の期間は15週以上とする。

2 一般教育科目の履修期間は前期3学期、専門科目の履

修期間は後期5学期とする。

3 外国語および体育は前期3学期において履修することを原則とする。

第4条 各学科目はこれを必修科目および選択科目に分ける。

2 本学部学生の履修すべき学科目および単位数は別表(1)のとおりとする。

第5条 教授上必要あるときは所定の学科目以外の講義または実習を課することができる。

第2章 履修方法

第6条 一般教育科目、外国語および体育の履修方法は別に定めるところによる。

第7条 学科目の単位数は原則として次の基準によるものとする。

- 一 講義は毎週1時間15週をもつて1単位とする。
- 二 演習は毎週2時間15週をもつて1単位とする。
- 三 実験または実習は毎週3時間15週をもつて1単位とする。

第8条 学科目の配置および授業時間割は教授会において定め、あらかじめ発表する。

第9条 学生は毎年履修しようとする学科目を指定する期日までに学部長に届けなければならない。

第10条 特別研究はいずれかの講座に属して行なわなければならない。

2 特別研究題目は担当教官の承認を経て学部長に届けなければならない。

第11条 在学期間を通じ一般教育科目、外国語および体育については63単位以上、専門科目については薬学コースは88単位以上、製薬コースは84単位以上をそれぞれ履修するものとする。

第14条を第12条とし、以下各条を2条ずつ順次繰り上げる。

別表(1)を次のように改める。

別表(1)

学科目および単位数

一般教育科目・外国語および体育

科目	系 列	単位数	備 考
一般教育科目	人文科学系列	12以上	3科目以上
	社会科学系列	12以上	3科目以上
	自然科学系列	19以上	数学4単位以上、物理学、化学および生物学各5単位以上(各実験1単位を含む)
外国語	必修科目 英語 ドイツ語	16以上	各8単位以上
体育	講義、実技	4以上	各2単位以上
計		63以上	

専門科目

① 薬学コース

薬学コースにおいては必修科目78単位と選択科目10単位(農薬学2単位を含む)以上合計88単位以上を履修取得しなければならない。

学 科 目	単 位 数
必修科目	
薬 化 学	5.5
薬 化 学 実 習	1.5
物 理 化 学	1.5
分 析 化 学	5.0
分 析 化 学 実 習	2.0
生 化 学	6.0
生 化 学 実 習	1.5
生 薬 学	5.0
生 薬 学 実 習	1.5
薬 物 学	5.0
薬 物 学 実 習	1.5
薬 品 化 学	6.0
薬 品 化 学 実 習	1.0
薬 剤 学	4.0
薬 剤 学 実 習	2.0
衛 生 化 学	6.0
衛 生 化 学 実 習	2.0
微 生 物 学	2.0
病 原 微 生 物	1.0
病 原 微 生 物 実 習	1.0
病 理 学	2.0
解 剖 生 理 学	4.0
解 剖 生 理 学 実 習	0.5
局 方 概 論	1.5
薬 事 衛 生 法 規	1.0
放射化学・放射線保健学	1.5
放射化学・放射線保健学実習	0.5
特 別 研 究	6.0
計	78.0
選択科目	
農 薬 学	2.0
薬 品 製 造 学	3.0
推 計 学	1.5
薬 局 管 理 学	2.0
薬 品 衛 生 材 料 論	1.0
薬 剤 製 造 学	1.0
香 粧 品 化 学	1.0
薬 業 経 済	1.0
薬 学 文 献 学	1.0
臨 床 医 学 総 論	1.0
薬 学 史	1.0
薬 化 学 概 論	2.0
特 許 法	0.5

品質管理	1.0
工場衛生学	1.0
計	20.0

② 製薬コース

製薬コースにおいては必修科目69単位と選択科目15単位（薬剤学概論2単位、同実習1単位、衛生化学概論2単位、微生物学2単位計7単位を含む）以上合計84単位以上を履修取得しなければならない。

学 科 目	単 位 数
必修科目	
薬 化 学	5.5
薬 化 学 実 習	1.5
分 析 化 学	6.0
分 析 化 学 実 習	2.0
薬 品 物 理 化 学	3.5
薬 品 物 理 化 学 実 習	1.5
生 化 学 概 論	4.5
生 化 学 概 論 実 習	0.5
生 薬 学 概 論	3.0
生 薬 学 概 論 実 習	0.5
薬 物 学 概 論	3.0
薬 物 学 概 論 実 習	0.5
合 成 薬 品 製 造 化 学	7.5
合 成 薬 品 製 造 化 学 実 習	2.0
天 然 物 薬 品 製 造 化 学	6.5
天 然 物 薬 品 製 造 化 学 実 習	2.0
薬 品 製 造 工 学	3.0
薬 品 製 造 工 学 実 習	1.5
薬 剤 製 造 工 学	3.0
薬 剤 製 造 工 学 実 習	2.0
局 方 概 論	1.5
放 射 化 学・放 射 線 保 健 学	1.5
放 射 化 学・放 射 線 保 健 学 実 習	0.5
特 別 研 究	6.0
計	69.0
選択科目	
薬 剤 学 概 論	2.0
薬 剤 学 概 論 実 習	1.0
衛 生 化 学 概 論	2.0
微 生 物 学	2.0
薬 化 学 概 論	2.0
推 計 学	1.5
品 質 管 理	1.0
生 薬 化 学	2.0
薬 品 化 学 実 習	1.0
薬 事 衛 生 法 規 法	1.0
特 許 法	0.5
応 用 物 理 学	1.0

薬 学 文 献 学	1.0
病 理 学	2.0
電 気 工 学	2.0
化 学 工 業 経 済	1.0
工 場 衛 生 学	1.0
薬 学 史	1.0
農 薬 学	2.0
香 粧 品 化 学	1.0
計	28.0

附則の次に次の附則を加える。

附 則（昭和37年3月15日改正）

この規程（改正）は昭和37年4月1日から実施し、昭和37年度第2年次学生から適用する。

学 内 通 知

共済組合利用で診療を受ける場合の
注意事項

組合員の周知事項

1. 本学の共済組合支部における毎月の診療給付額は掛金の割合から比較すると逐次上昇の傾向があるところから監督官庁は特にこの点を重視しておりますので、組合員においては次の事項について留意すること。
 - イ、共済組合の診療費は同一人にかかる同一の病気又は負傷及びこれらにより生じた病気に関しては初診日から3年経過したとき以後は給付できないことになっておりますので注意すること。
 - ロ、組合員又はその被扶養者が結核性の病気その他の病気で6ヵ月以上診養を受けている場合（長期療養者と言っている）共済組合では長期療養者台帳によつて記録しておりますので、その病気がなおつたときは治癒診断書を添えて共済組合担当係へ申し出なければならないことになっておりますので、注意すること。
 - ハ、同一の病気でみだりに診療医師を変へたり、または無理な投薬等を要求したり、或は病状等からみてみだりに往診を要求したような場合には、往々にして重複診療、濃厚診療、乱診乱療と認められることがあり、あとで該当する診療費を返納しなければならなかつた事例が数多く見受られたので、かかる診療は厳に慎むよう注意し、正しい診療を受けるよう心がけること。
- ニ、公務上又は交通事故による病気やけがについては、他の方法による保障制度がありますので、共済組合では給付致しませんから注意すること。

よつて、このような場合には、一応担当係に申し出の上相談されるようにして下さい。

ホ、健康診断の目的で診察を受ける場合は、共済組合員証は利用できませんから注意すること。

2. 組合員又はその被扶養者が次に該当する場合には、法定給付以外に附加給付といつて附加金が支給されることになっておりますので、かかる場合には定められた様式により請求して下さい。請求しないと附加金を受けることができないので特に注意すること。

- イ、被扶養者が入院したとき。
- ロ、組合員が出産したとき。
- ハ、組合員の配偶者（被扶養者）が出産したとき。
- ニ、出生した子女を育てるとき。
- ホ、組合員が死亡したとき。
- ヘ、被扶養者が死亡したとき。
- ト、組合員が結婚したとき。

人事異動

現官職	氏名	異動内容	発令年月日	発令庁
助(経済学部) 手	山本英治	辞職を承認する	37. 3. 5	富山大学
	八木和子	事務員(富山大学経営短期大学部)に採用する	〃	富山大学 経営短期 大学部
文(薬学部) 技官	谷口貞子	辞職を承認する	37. 3. 31	富山大学
(工学部) 技	伏江博	〃	〃	〃
(技能員) 員	沢芳昭	〃	〃	〃
教(附属中学校) 論	長枝実	〃	〃	〃
事(文理学部) 務員	板谷忠良	〃	〃	〃
文(文理学部) 部事務官	江尻百合子	〃	〃	〃

総合情報

卒業式

昭和36年度の卒業式は3月20日午前10時から黒田講堂で行なわれた。この卒業式には、ことし始めて卒業生を出す経営短期大学部の分も併せ行なわれた。

卒業生は文理81、教育121、経済135、薬学74、工学157、計568名(うち女子148名)、また経営短期大学部は71名(うち女子5名)このほかに経済学部の専攻科修了生1名であつた。証書授与のあと学長就任後初めて式に臨む横田学長は酔けた調子で次に掲げる告辞を行なつた。次いで文部大臣の祝辞を高瀬文理学部長が代読し、吉田知事、金厚県議会議長、山森後援会副会長が祝辞を述べた。これに対し卒業生を代表して工学部の四谷俊章、短期大学部の板谷力夫の両君が答辞を述べ、黒坂教官の指揮する富大バンドの演奏をもつて式を閉じた。

学長告辞

ここに、本学第10回の卒業生568名の諸君と経営短期大

学部最初の卒業生71名の諸君に卒業証書を、また経済学部経理経営専攻科修了の1名の方に修了証書をお渡しいたしました。これで、少数の大学院進学者を除き小学校に始まる15年及至16年の長い学窓生活の最後を飾る最終にして最高の課程を終えられた訳で、この間何より健康で晴れの今日を迎えられたことは、まことにめでたく諸君及び諸君の御父兄と共に御同慶に堪えません。申すまでもなく卒業式は、大学の数ある行事の中で最も重要な式典で、いわば吾々職員が手塩にかけた豊かな稔りとして、諸君を誇りを以て社会におくる決算の日であります。この機会に私は、学内の職員の皆様にその御丹精を謝し、また、常日頃大学に寄せられる学外の皆様の絶大な御支援に対し感謝を申し上げます。特に、本日のため御多忙の処、知事、県議会議長、大学後援会長の皆様を初め各層の代表の方の御臨場をいただきました。まことにありがたく存じます。

さて、卒業即ち社会入門の第一歩に当り少しく所懐をのべて式辞とも又はなむけともいたしたいと思ひます。

学制の改革により世間では急に大学の数が殖え門戸が大いに解放されたかのように取沙汰されていますが、尠くも国立の大学に関する限り、その基盤が旧大学高専にある関係上その実体は然程殖えておらず、相変わらず狭き門であります。この狭き門を築立ちされる諸君は限られた、選ば

れた境遇でありまして、国が諸君に期待するところは、毫も変わりなく、大いなるものがあります。それは何か、即ち諸君が将来年を追うて多くの人々から色々な相談をもちかけられる言わば、その指導的役割で各種の職域における担い手となる事でありまして。そのために諸君のこれからの毎日は各自が指導的役割を果すための「心の支え」を把握しようとする練成が続くことと思います。

ここで私は、過去50数年来「心のささえ」としてのことを披露いたし幾分なりと御参考になればと思います。その内容を年代を追うて申しますが、まことに普通の事柄で何も変わったものでなく、それだけに大事にいたし今につとめて尚、達し得ないものであります。

私は、高等1年から中学に入学いたしました。高等1年の時の先生から最善を尽せ *Do Your best* ということを教えられました。ことに当つて最善にして最良の道を選べとも、事に当つて力を惜しまずあらん限りの努力をせよとも取れますが、近く綻びる桜の花の今がまつさかりは *The brosm is now at her best* と英訳されますが桜は根限りの力によつて萬朶の花を咲かせるのが矢張りベストで表現されます。次に和歌「明日ありと思ふ心の仇桜夜半に嵐の吹かぬものかは」を教えられましたが、これは申すまでもなく時期を失せず、他に頼らず自主的に事を運ぶ教訓と思えます。

次に、中学2年の時に郷党の先輩の野口博士が錦を飾つて米国より郷里に戻られた時、吾々中学生の前で約1時間講演されましたが「国と国との交通が非常に頻繁になりつつあるが、諸君はよろしく視野を世界に向け、世界人、国際人になれ」と激励されその時 *Navigatiom* の邦語が急に思いつかれず港と港との間の交通と言われたことが印象的に耳に今も残っています。

高等学校時代に尊敬していた先生より大学進学に際し「物事に徹せよ」と諭されました。これは、研究にも中途半端ではいけない (*Do your best*) と同意語と思ひ、重ねて違つた先生から教えられた言葉であります。

東京帝大薬学科入学の際主任の教授から「大学に専門を決めてやつてきた以上、趣味、娯楽等はこの際一切を排して研究に取り組み、そのためには日常の生活を整理せよ」大学の先生とは何とえらいことを言うものと大いに驚きましたが、同じ先生が卒業の時には「社会人としてはある程度趣味も娯楽も必要である」と告辞されました。若い時代の時間と精力の乱費を強く戒め学生の健康を大いに留意されたことがあとでわかりました。

大学を卒業して、助手時代に研究室の移転があつた際、出てゆくあとの部屋の掃除が不充分であつたため、教授よりひどく叱かれ、昔からの言葉「立つ鳥あとを濁すな」を事新しく引用され訓戒をうけました。他人に迷惑をかけることなく有終の美をなすということでその時、年甲斐もなく恥じ入りました。

以上、恩師、先輩から教えられた私の心のささえを申しましたが、いずれも事新しいものでなく、古くから謂われた事柄であります。長い生命をもつもので、今も大事にそれに向つてつとめています。

私は結びとして、ここに諸君と共に考えたいことは、指導の立場に立つものとして、先ず国の内外あらゆる事象に対し、自分の「見識」「信念」「確信」をもつことが肝要であるということでありまして。見識が、信念が薄弱で動揺しては相手は非常に不安にかられ安心してあとについては来ないでしょう。固い信念こそ指導者として絶対必要と思ひます。

然らば、見識はいかにして涵養されるか、信念は誤れば独善となり、思いあがりとなり、その人の進歩は止むばかりでなく他人より嫌悪されます。それで「謙虚」な気持をもつて聞き、よく読み、よく見ることによつてその人の見識は益々確乎不動のものとなりましょう。敬けん、謙虚は大きな美徳で、人間完成への大事な道で、また、むずかしい社会に光を与えるものとなりましょう。然し、敬けんも謙虚も一歩誤れば怯懦となりかねないので、大いに注意を要します。私は指導者として大事な見識と謙虚の重要な事とその関連をのべましたが最後に健康という事でありまして、いかにマスコミ時代でも、中心は人であり、人は健康が元であります。若くして、また病床にあつて仕事を多くした人もありますが、極く希れな例で、健康で長寿を保つてこそ、立派な仕事ができます。健康は一朝一夕では得られません。若い時代より各自のペースをよく守り自衛的に生活を整理することにより、健康を保ち将来への繁栄と長寿を約束されましょう。以上のことは女子の方にもあてはまる事柄で、女子の方は将来専門の道を進まれようとも、一家の主婦となり、また、母としての子供の養育など最も大事な仕事があり、この際やはり最もたよられる人として中心にすわられることになりましょう。大学出の母として、子供の誇りとなられることを望みます。

経営短期大学の卒業生の方々は、まさしく労学同帰働きつつ学ぶの苦勞を身をもつて体験されました。既に生ける手本であります。将来の大成を祈ります。

雑駁なことを申しましたが以上をもつて挨拶といたします。

入 学 試 験

昭和37年度入学試験は例年どおり23、24の両日行なわれた。経済学部と薬学部はそれぞれ富山工業高校、奥田中学の校舎を、また工学部は一部は高岡高校を試験場にあてた。例年のことだが、ことしは国立大学入学試験一期校や私立大学を受けて合格発表済みの者の欠席が特に多かつた。4,908名の志願者中当日出席しなかつた者は1,742名

の多きに達し総数の3分の1にも及んだ。これがため平均倍率の6.58は4.56に下つた。合格者の発表は4月1日行なわれたが、今募集人員と受験者数とその対比及び合格者数を各学部別に示すと次のとおりである。

学 部	募集人員	受験者 (欠席者)	倍率	合格者 (女子)
文 理	100	516 (332)	5.16	110 (文36)
教 育	165	514 (213)	3.11	125 (83)
経 済	160	900 (465)	5.63	172 (1)
薬 学	80	370 (295)	4.63	80 (48)
工 学	190	866 (472)	4.56	190 (0)
計	695	3,166 (1,777)	4.56	677 (168)

合格者中県外の者は286名で、入学者677名の42%にあたる。

なお経営短期大学の入学試験は26日行なわれ、154人の受験生のうち89人が合格、入学を許されたが、これは定員より9人超過している。このうち、女子が10名もいることは経営学という専攻からして注目に値する。なお本命である実業従事者や勤め人より、高校を出たばかりの未就職者が約50名あつたということも、一つの傾向を示すものといえよう。

文理学部の移転

五福地区に建設中であつた文理学部は、3月末に工を終えた。3月10日文理学部では袂れのパーティを開いた。このパーティには、文理学部関係者約70人が集つた。へき頭高瀬学部長の挨拶があつたあと、来会の人々の自己紹介や思い出話に花を咲せて、盛会の裡に会を閉じた。

また3月31日には同学部の教授ら30人が集つて、校舎との袂別式を行なつた。

かくて、大正12年から旧制高等学校として発足し、数々の思い出を遺した校舎は、その38年間の幕を閉じた。この38年の間に3,336人の高校生と約4,000人の大学生を送り出している。

この際銘記しておくべきは、この文理学部は馬場はる子女史の特志によつて設けられたのであつて、これがなければ、本学には文理学部は存在しなかつただろうことである。そして、女史が寄贈せられた校舎はやがて姿を消すとも、その芳志は新しい校舎となつて再現したということである。

中沖教授の退職

薬学部長中沖太七郎教授は、この4月限り停年退職されることとなつた。

中沖教授は富山市の出身である。然かも、薬学部の前身富山薬学専門学校大正7年の卒業生である。卒業後富山、長野の両県で防疫員や技手を勤められたあと、大正8年母

校の助手として就任、従後昭和10年には助教授に、同16年には教授となり、大学移行以来も教授として今日に及んだのである。薬専時代には薬草園課長や図書課長として、また大学時代は34年に図書館長を勤め、ことしは横田学部長、学長に就任のあとを承けて学部長を併任した。この他評議員を重任して学校行政の面においても尽されている。

教授は上記のとおり富山市で生れ、薬専に学び、薬専で教鞭をとり、その後身の大学に勤続するという純一無雑ともいべき経路を辿つていられる。この純一な経歴を写したように、そのお人柄もこれにふさわしい方であつた。謹厳、重厚、そして寡黙、まことに折目正しい方であつた。それでいて講義講演にはユーモアを交える、ゆとりも持ち合せられた。

教授の専門は生薬学、特に薬用植物学であつて、「薬用植物概要」「薬用植物学提要」の著書の他に多数の研究成果を発表されている。最近は個人研究としては「薬業資源の研究」、また、教授が最高責任者となつて、学部の精鋭をすぐつた共同研究「牛黄の生薬化学的、及び薬理学的研究」の偉業に従事していられたが、これは教授の大学に遺された業となり継続される筈である。

手塚教授の逝去

教育学部手塚義三郎教授は3月15日逝去された。享年49才であつた。

同教授は昭和7年富山県師範学校を卒業後郷里に近い小学校や実科女学校に勤めていたが、現状に満足することなく、東京高等師範の研究科に入り、昭和16年に同科を卒えている。そして、旧、新制の女学校、中学校、高等学校の教諭を歴任して27年教育学部附属中学校教諭となり、33年には同学部の助教授に、37年3月に教授となり今日に至つたのである。

教授については、特記すべき3点がある。それは1に洋画における抜群の伎倆であり、2に教職における異数の昇任であり、3に人柄のよさである。

洋画においては昭和24年日本美術展に「杉木立」を出品入選以来毎年出品して入選せざるなく、連続実に12回に及んでいる。昨36年にそのことなかつたのは、病魔の犯すところとなつたためであらう。この間洋画の光風会に関係し32年に会員となつて、同会でも優秀な作品を発表している。長生すればどんな作品を生み、どんな地位を占めるかは想像に余るものがあつただけに一層惜まれる。

この伎倆の優秀さはまた、一附属中学の教諭の身分から一躍大学の助教授に昇任せしめている。これは美術講座における欠員補充難という偶然の事情によるものでなく、寧ろ当然昇るべき座につくきつかけとなつたに過ぎない。

3にとかくかかる方面で天賦に恵れたものが偏狭で孤高の性格であり勝ちなのに、教授はあべこべに寛宏にして頗

る謙虚、それでいて底深い情熱を傾けて作品にも、教育指導にもあたられたのである。

レクリエーション

第四回国家公務員共済組合富山地区卓球大会

この大会は2月20日スポーツセンターで行なわれ、本学からA、Bの2チームが出場、それぞれ決勝戦に臨んだがこのうちAチームが優勝した。戦績は次のとおりである。

(1) 予選リーグ

試合	ゾーン 卓	A		B		C	
		I	II	III	III		
1	チーム	法務：大学 局：局 (A)	財務：検 部：部 (A)	大学：農 局：局 (B)	農林：農 局：局 (B)	北陸：北 庄：庄 (A)	北陸：北 庄：庄 (A)
	得点	1 : 4	5 : 0	4 : 1	1 : 4		
2	チーム	法務：検 局：局 (A)	大学：財 局：局 (A)	大学：公 局：局 (B)	農林：古 局：局 (A)		
	得点	3 : 2	4 : 1	4 : 1	0 : 5		
3	チーム	法務：財 局：局 (A)	財務：財 局：局 (A)	検察：大 局：局 (A)	農林：公 局：局 (B)	北陸：北 庄：庄 (A)	北陸：北 庄：庄 (A)
	得点	3 : 2	1 : 4	4 : 1	3 : 2		

(2) 決勝リーグ

第1試合 Aゾーン勝者対Bゾーン勝者

チーム名	大学 A 対 大学 B
得点	4 対 1

第2試合 Bゾーン勝者対Cゾーン勝者

チーム名	大学 B 対 北陸庄
得点	1 対 4

第3試合 Cゾーン勝者対Aゾーン勝者

チーム名	北陸庄 対 大学 A
得点	1 対 4

全国公務員レクリエーション共同事業

囲碁、将棋大会

日時 2月20日

会場 富山県職員会館

囲碁団体戦

参加者 12機関、22チーム、66名(うち本学3チーム9人)

戦績 優勝 少年鑑別所

次勝 食糧事務所Aチーム
なお本学3チームは予選で敗退

囲碁個人戦

参加者 13名(団体予選で全勝した個人)

戦績 優勝 塩谷忠之(電波)

将棋個人戦

参加者 16名(本学からは参加者なし)

戦績 優勝 宮尾長夫(統計)

卓球大会

日時 3月16日

会場 興国人絹バルブ体育館

団体戦

参加者 9機関、13チーム(うち本学は2チーム)

戦績 優勝 電波監視部

次勝 法務局

個人戦

参加者 16名

戦績 優勝 吉尾秀友(検察庁)

部局情報

附属図書館

文理学部分室の移転状況

分室は3月1日をもつて本館に統合し、三期にわたる予定作業も受入後の図書の点検整理を除きほぼ完了して、4月9日より新学期閲覧を開始した。

本学の代表的コレクションであるヘルン文庫(文庫2,435冊関係文献240冊)は、本館4階にセメントブロック式建物を移築した。(工費422,500円)

移動図書冊数 53,675冊

日誌

本部

- 3月 2日 評議会、学部長懇談会
- 10日 生協発起人会
- 15日 評議会
- 16日 入学試験管理委員会
- 20日 卒業式
- 23日 入学試験
- 24日 〃
- 31日 評議会

文理学部

3月 7日 学部教授会

- 3月 7日 人事教授会
 10日 旧富山高校、文理学部職員を招いての校舎との別れの会（出席者約70名）
 16日 自然科学関係移転開始
 17日 ドイツ語選考委員会
 23日 文学科関係移転開始
 28日 事務関係移転開始
 31日 学部教授会
 移転完了遅町「文理学部」標札降下式

教育学部

- 3月 7日 教育実習委員会
 8日 人事教授会
 9日 特別教職課程委員会
 14日 学部教授会、補導教務合同委員会
 15日 附属小学校卒業式
 16日 附属中学校卒業式
 17日 附属幼稚園修業式
 19日 学窓会新会員歓迎会
 20日 卒業祝賀会
 23日 職業補導委員会
 31日 教務補導合同委員会、教授会

経済学部

- 3月 2日 人事教授会
 12日 教務委員会、教授会（第20回）
 16日 教授会（第21回）入試事務打合せ会
 20日 学部卒業祝賀会（1番教室）
 23～24日 昭和37年度入学者選抜試験（於富山工業高校）
 31日 教授会（第22回）

薬学部

- 3月 1日 期末試験開始（10日まで）
 8日 人事教授会
 10日 中沖教授最終講義
 13日 教授会
 14日 教授会
 15日 人事教授会
 16日 教授会
 20日 卒業祝賀会（富山薬窓会主催、於電気ビルホール）
 22日 教授会、人事教授会
 23日 昭和37年度入学者選抜試験
 29日 春季工場見学旅行（4月3日まで大阪、東京）
 31日 教授会

工学部

- 3月 7日 教授会
 人事教授会
 13日 教授会
 人事教授会
 23日 入学試験
 24日 〃
 人事教授会
 身体検査（学生）
 31日 教授会

経営短期大学部

- 3月14日 専任教官会議（第20回）
 教官会議（第3回）
 19日 専任教官会議（第21回）
 20日 第1回卒業式、卒業祝賀会（経済学部合同）
 26日 昭和37年度入学者選抜試験
 29日 専任教官会議（第22回）

附属図書館

- 3月 1日 分室総会（文理学部）
 15日 図書館高議会

職員住所

新任者
 短期大学部
 事務員 八木和子

昭和37年6月15日

印刷所 昭和印刷株式会社